



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 76 号 2018/7/2 発行）

◆◆ <<https://www.iima.or.jp/>>



＼1. 理事長 渡辺博史 コラム／

既存のシステムの再点検

<<https://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2018/20180702watanabe.pdf>>

今年も既に半分経過し、雨の少ない猛暑型？の梅雨に閉口しているこの頃であるが、様々な課題が日々新たに目前にさらされるというか、湧いて？きている…

＼2. 専務理事 倉内宗夫 コラム／

油断！

<<https://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2018/20180702kurauchi.pdf>>

2016 年には 20 ドル台にまで下がった油価が足元 70 ドル台に戻している。そうした環境下で開催された先月の OPEC 年次総会とロシアなどを含めた拡大会合に世…

■ホームページ 「IIMA の目」

短編コラム「IIMA の目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<<https://www.iima.or.jp/research/column/index.html>>

1. 「ドイツの財政黒字と EU の南北格差」 麻野 文裕
2. 「小幅にとどまる南アフリカ・ランドの下落」 潮田玲子
3. 「ビットコインは「エコ」な決済手段となりうるのか？」 志波和幸

■IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新

<<https://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>>

《掲載内容》

○IIMA Global Market Volatility Index

（グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数）

○購買力平価グラフ

（ドル円）（ユーロドル）（ユーロ円）

■ 今月の新着レポート

1. 「アルゼンチン：マクリ大統領を待つ試練」 森川央

https://www.iima.or.jp/Docs/topics/2018/322_j.pdf

IMF 支援後もペソ下落が止まらない。通貨下落の原因は、財政赤字を中央銀行がファイナンスしてきたため通貨供給が膨張しているためである。問題の根治には財政の引き締めが必要であり、マクリ政権は国民を説得する必要がある。

■ 今月の IIMA

IIMA は、毎年、日本の ODA 技術協力の一環として、JICA 主催の複数の研修に参画しています。6 月下旬に今年度の初回となる研修がはじまりました。これは、JICA が世界銀行と連携し、アジア、アフリカ、中東、及び大洋州の開発途上国 23 カ国の財務省幹部職員を東京に招き、開発途上国の公共財政・公的債務管理強化を目的に行うものです。研修は今日 5 日まで続きます。

また、今月は、米国で行われる民間エコノミストの国際会議への出席や、外部での講演が予定されているほか、6 月より米国の大学から受け入れているインターンシップ生の研究活動が本格化します。

IIMA は、今後も業務の基盤である調査研究活動に加え、情報・国際交流を通じ、日本と諸外国の相互理解・発展に貢献して参ります。

【バックナンバー】 <https://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】2018 年 8 月 1 日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】admin@iima.or.jp

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <https://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.